ご家庭のみなさまへ　　まんのう町立満濃中学校だより

本気・元気・根気

第９号　R5.1.10

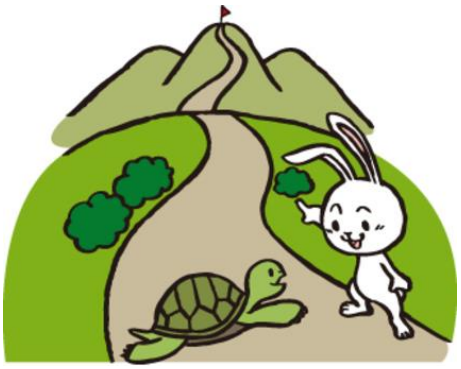
まんのう町立満濃中学校
〒766-0022
まんのう町吉野下 957 番地
TEL　0877-73-2107
FAX　0877-73-4685

ぴょんぴょん飛躍する年に

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いします。

令和５年（2023 年）は卯年です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質でもあることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。新しいことに挑戦するのに適した年であるとも言われているようです。

さて、「ウサギとカメ」でお馴染みのこのウサギ。当時は、油断大敵という教訓を得たのだと思います。カメのように毎日努力を続けるというのは、とても難しいことです。みなさんはどうでしょうか。この冬休み期間中に毎日休まず宿題や勉強したという人は多くないと思います。一気に宿題を終わらせて、あとは…、のタイプの人や、その逆で、始めは自分のしたいことに時間をかけ、後半に追い上げるタイプの人もいたでしょう。



ウサギは自分の能力や長所をよく把握できており、先を見通す力もあったのだと思います。カメに勝つことだけを考えず、ゴールすること（自分の目標を達成すること）を最優先に考えていれば、結果は違っていたでしょう。ちなみにこの話には続きがあるようです。ぜひ調べてみてください。

＜１月の予定＞

日	月	火	水	木	金	土
1 元日 学校閉庁日	2 振替休日 学校閉庁日	3 学校閉庁日	4 ３年）補習 鳴門市中学校 卓球強化大会	5 ３年）学習の診断 鳴門市中学校 卓球合同練習	6	7 穴吹学園入試 村上学園入試
8 県新人（卓球） 豊浜近県剣道大会	9 成人の日 県新人（卓球）	10 始業式 午前授業 給食あり 部活動休養日	11 １・２年） 冬休み明けテスト 部活動休養日 英明Ａ入試	12 生徒企画委員会 香川西特進・推薦 坂ーA、英明Ｂ入試	13　２年２・４組） スピーキングテスト 英語検定 尽誠A、英明C、 大手前高松、 香川西一般入試	14 尽誠Ｂ入試
15 香川高専推薦入試 香川誠陵入試 高松中央入試	16 短縮６時間授業 常置委員会 藤井ユリーカ入試 坂ーＢ入試 部活動休養日	17 藤井一般入試	18 ２年１・３・５組） スピーキングテスト 部活動休養日	19 交通立哨ボランティア ３年）総合診断	20 ３年）４時間授業 給食あり 漢字検定 PTA 本部役員会	21
22	23 ３年）４時間授業 給食あり	24 公開授業日 新入生入学説明会	25 部活動休養日	26 短縮６時間授業 ３年）４時間授業 給食あり 進路懇談会	27 生徒企画委員会 ３年）４時間授業 給食あり 進路懇談会	28 県新人（バレー） 穴吹学園入試
29 県新人（バレー）	30 短縮６時間授業 常置委員会 部活動休養日	31 小学６年生中学校訪問 （満濃南小、仲南小）	2／1 香川県公立高校 自己推薦入試 ３年）４時間授業 給食あり 部活動休養日	2	3 小学６年生中学校訪問 （四条小）	4

部活動終了時刻 17:30

人権学習、今回のテーマは“個性”

先月の人権旬間では、学年団ごとの道徳、縦割りグループでの人権学習を実施しました。多くの人の感想には「普段関わらない人と話ができてよかった。」「いろいろな考え方を知ることができてよかった。」とありました。私も生徒のみなさんの授業を参観したり、感想文を読んだりさせていただき、自分自身の言動を改める必要があることに気付くきっかけになりました。

＜生徒の感想より（一部抜粋）＞

○　「いのちのせんせい」講演会を聞いて、お母さんにとても感謝しないといけないと思いました。最後に見せてもらった写真を見て、とても苦労して産んでもらったことが伝わってきました。家に帰って母子手帳を見つけました。（１－１大木元百愛さん）

○　「名刺交換会」では、その職業になりきろうとすると、肩書きで考えてしまいました。肩書きで人を判断すると「この人はすごい職業」「この人は良くない職業」と差別が起こってしまうことも分かりました。これからは、その人の内面について、特にその人の良いところを見ていくようにしたいです。（１－２和泉孝希さん）

○　人を肩書きだけで判断してしまうと生きづらい社会になってしまうのが分かりました。そうならないためにも人の中身を知ることが大切だと学びました。「リフレーミング」という活動を通して、短所の見方を変えて長所と捉えることでプラスに考えることができ、自由に生活できると思いました。他の人に考えてもらうことで、自分では気付かない自分の良さに気付くことができました。（２－２岩倉聖弥さん）

○　「ちがいのちがい」の授業を受けて、「あってもよいちがい（個性）」と「あってはならないちがい（差別）」があることが分かりました。最近はジェンダーレスが広まっているけれど、まだ男女の違いについては日常の中で差別と感じる場面があるので、「常識」だから正しいと思うのではなくて、疑ってみることが大事だと感じました。このような授業を受けることで人権感覚を正しく身に付けることが重要だと思いました。（２－５真鍋佳乃さん）

○　「命って何だろう」の授業では、この疑問はこれからの人生でずっと考え続ける必要があると感じました。正解もないので、自分が出した答えが全てになると思うと、とても負担が大きいと思いました。急なこともあるので、家族と話し合うことが大切だと思いました。（３－１三嶋幸来さん）

○　「ＩＴ企業は賢い」「名刺を持っていない人は･･･」など名刺交換会をして肩書きだけで思い込みをしてしまいがちだと感じました。相手の内面をしっかりと見ることは、これから社会に出たときに人間関係が上手くいくことにつながると思います。リフレーミングが得意になれるように普段から人の良いところを見付けたいと思いました。マスオさんのように人の長所を見つけられるようになりたいです。一部の人だけが輝く社会ではなく、いろいろな職業の人がそれぞれの場所で輝ける社会にしたいです。（３－２東山夢奈さん）